

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-142164

(43)Date of publication of application : 15.05.1992

(51)Int.Cl.

H04N 1/44
H04L 9/00
H04L 9/10
H04L 9/12
H04M 11/00

(21)Application number : 02-264162

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 02.10.1990

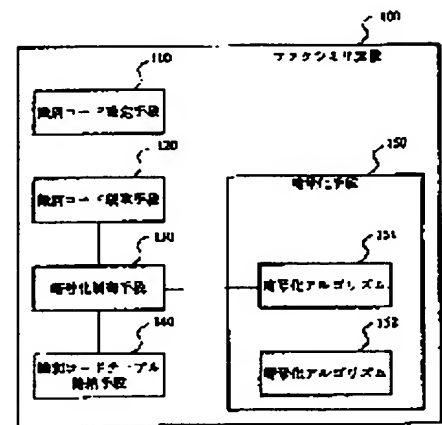
(72)Inventor : KOGANEYA YOSHIYUKI

(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To discriminate the necessary or unnecessary of encipherment and to prevent the occurrence of erroneous operation by providing a enciphering and decoding means for a transmission data and a means controlling the encipherment by an identification code of a transmission opposite party on the facsimile equipment.

CONSTITUTION: An identification code read means 120 reads an identification code of as transmission opposite party. An encipherment control means 130 receives an identification code of a transmission opposite party from the identification code read means 120 and used an identification code table storage means 140 to confirm the identification code of the transmission opposite party and does not start an enciphering means 150 when the code is not registered. When the identification code is registered, the encipherment control means 130 acquires an encipherment algorithm corresponding to the identification of the transmission opposite party. Then the encipherment control means 130 starts the enciphering means 150 so as to be operated on the acquired encipherment algorithm. Thus, the discrimination circuit of the necessary or unnecessary of the encipherment due to a difference from the transmission opposite party and its operation are automated and occurrence of erroneous operation is prevented.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平4-142164

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)5月15日

H 04 N 1/44

H 04 L 9/00

9/10

9/12

H 04 M 11/00

3 0 2

7117-5K

7117-5K

H 04 L 9/00

Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ファクシミリ装置

⑯ 特 願 平2-264162

⑰ 出 願 平2(1990)10月2日

⑱ 発 明 者 古 金 谷 嘉 行 東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発 明 の 名 称

ファクシミリ装置

る手段が送信相手の識別コードに対応する暗号化アルゴリズムを選択する機能を含むことを特徴とする請求項2記載のファクシミリ装置。

特 許 請 求 の 範 囲

1. 自装置の識別コードを設定する手段と、送信相手の識別コードを読み取る手段とを含むファクシミリ装置において、送信データを暗号化および復号化する手段と、前記送信相手の識別コードを読み取る手段で読み取った送信相手の識別コードにより暗号化を実行するか否かを制御する手段を具備することを特徴とするファクシミリ装置。

2. 送信相手の識別コードのテーブルを格納および検索する手段を具備することを特徴とする請求項1記載のファクシミリ装置。

3. 前記暗号化する手段が複数の暗号化アルゴリズムを含み、前記送信相手の識別コードのテーブルを格納および検索する手段が送信相手の識別コードと前記暗号化アルゴリズムとの対応関係を格納する機能を含み、前記暗号化の実行を制御す

発 明 の 詳 細 な 説 明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、ファクシミリ装置に関し、特に、送信データを暗号化する手段を含むファクシミリ装置に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種のファクシミリ装置は、自装置の識別コードを設定する手段と送信相手の識別コードを読み取る手段を含み、送信相手の識別コード(例えば名称)を認識することができた。また、機密保持のために送信データを暗号化する手段を含む装置があった。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来のファクシミリ装置には、送信相手によっては暗号化の必要がない場合の考慮がないか、あるいは操作者が送信相手の違いによって

暗号化の要／不要を判断して操作する必要がある、前者の場合は同じ暗号化手段を含むファクシミリ装置間でなければ送信できないという欠点があり、後者の場合は操作の手順が多くなったり誤操作する可能性があるという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明のファクシミリ装置は、自装置の識別コードを設定する手段と、送信相手の識別コードを読み取る手段とを含むファクシミリ装置において、送信データを暗号化および復号化する手段と、前記送信相手の識別コードを読み取る手段で読み取った送信相手の識別コードにより暗号化を実行するか否かを制御する手段を具備することを特徴とする。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。ファクシミリ装置100は、自装置の識別コードを設定するための識別コード設定手

コード読取手段120から送信相手の識別コードを受け識別コードテーブル格納手段140により送信相手の識別コードが識別コードテーブルに登録されているか否かを確認し、登録されていない場合は暗号化手段150を起動しない（ステップ2）。送信相手の識別コードが識別コードテーブルに登録されているときは、暗号化制御手段130は識別コードテーブル格納手段140から送信相手の識別コードに対応する暗号化アルゴリズムを獲得する（ステップ3）。次に暗号化制御手段130は暗号化手段150を、獲得した暗号化アルゴリズムで動作するように起動する（ステップ4）。ファクシミリ装置100は上記ステップ終了後送信データを送信する（ステップ5）。

尚、受信側では上記と同様の手順で受信データを復号化する。

実施例では2組の暗号化アルゴリズム151、152があるとして説明したが、3組以上の暗号化アルゴリズムを含むことも可能である。また1組の暗号化アルゴリズムしかない場合も同様に可

能である。さらに、識別コードそのものに予め規則（たとえば識別コードを入力値とするある種の計算結果）を設けて暗号化するか否かを判断できるようにすることで識別コードテーブル格納手段140を不要とすることもできる。

第2図は実施例の識別コードテーブルの内容を示す図である。図のように識別コードテーブル格納手段140により、予め送信相手の識別コードに対応する暗号化アルゴリズムを格納しておく。

第3図は実施例の手順を示す流れ図である。送信相手との接続が完了すると、識別コード読取手段120は送信相手側の識別コード設定手段に予め設定されている送信相手の識別コードを読み取る（ステップ1）。暗号化制御手段130は識別

能である。さらに、識別コードそのものに予め規則（たとえば識別コードを入力値とするある種の計算結果）を設けて暗号化するか否かを判断できるようにすることで識別コードテーブル格納手段140を不要とすることもできる。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、自装置の識別コードを設定する手段と送信相手の識別コードを読み取る手段と送信相手の識別コードにより暗号化の実行を制御する手段と暗号化する手段を含むことにより、送信相手の違いによる暗号化の要／不要の判断とその操作を自動化し誤操作の発生を防止できる効果がある。

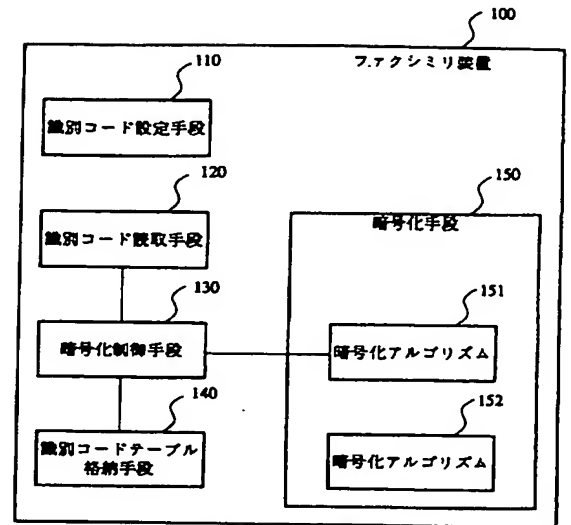
図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図、第2図は同実施例の識別コードテーブルの内容を示す図、第3図は同実施例の手順を示す流れ図である。

100…ファクシミリ装置、110…識別コー

120 … 暗号化制御手段、140 … 識別コードテーブル格納手段、150 … 暗号化手段、151、152 … 暗号化アルゴリズム。

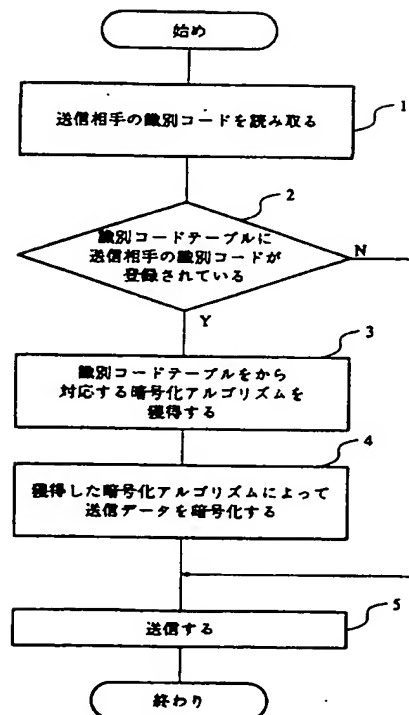
代理人 弁理士 内原 晋



第 1 図

識別コード 1	暗号化アルゴリズム 151
識別コード 2	暗号化アルゴリズム 152
識別コード n	暗号化アルゴリズム xxx

第 2 図



第 3 図